

第8回地域復興マッチング「結の場」(多賀城市)の開催について

復興庁では、被災地域の企業が抱える多様な経営課題の解決を図るため、大手企業等が、技術、情報、販路などを幅広く提供する支援事業の形成の場として、「地域復興マッチング『結の場』」を実施しています。

今般、第8回目となる「結の場」を以下のとおり開催いたします。

1. 日時・場所

日時:平成27年1月22日(木) 13:00~17:10

場所:多賀城市文化センター(多賀城市中央2丁目27-1)

2. 主催

復興庁、多賀城・七ヶ浜商工会、利府松島商工会

3. 参加企業

【被災地域企業:7社】(すべて食品製造業)

1	(株)カトーマロニエ	5	北海食品工業(有)
2	(有)カネキチ阿部源食品	6	(株)松島蒲鉾本舗
3	(株)カネシゲ高嶋商店	7	(有)松島屋海苔店
4	(有)橡企画		

【支援提案企業等:29社】 ※は、初参加の企業・団体

1	インフォコム(株) ※	10	(株)丹青社	20	富士通(株) ※
2	(株)NTTドコモ	11	テルウェル東日本(株) ※	21	(株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ ※
3	王子コンテナ(株)	12	東京海上日動火災保険(株)	22	三井住友海上火災保険(株)
4	キリン(株)	13	日本電気(株)	23	(株)名鉄百貨店 ※
5	KDDI(株) ※	14	日本郵便(株)	24	(株)名鉄レストラン ※
6	積水ハウス(株)	15	(株)乃村工藝社	25	森永乳業(株) ※
7	総合警備保障(株) ※	16	パナソニック(株)	26	(株)LIXILグループ
8	損保ジャパン日本興亜ホールディングス(株) ※	17	東日本電信電話(株)	27	イノベーション東北
9	大日本印刷(株)	18	(株)日立ソリューションズ東日本 ※	28	(公社)ソーシャル・サイエンス・ラボ ※
		19	富士ゼロックス(株)	29	(一財)東京顕微鏡院

4. 取材

- ・カメラ撮り可

- ・当日の取材を希望される社(者)は、社名、取材代表者氏名、カメラ撮り希望の有無(有の場合はスチールかムービーの別)を、復興庁企業連携推進室(kigyorenkeisuishinshitsu@cas.go.jp)まで事前登録をお願いいたします。

<登録締切:1月21日(水)17時まで>

5. 前回(平成 26 年 12 月 9 日南相馬市)のワークショップの様子



(本件に関するお問い合わせ先)

復興庁 企業連携推進室 麻岡、中村、皆藤 (TEL : 03-5545-7365)

第 8 回地域復興マッチング「結^{ゆい}の場^ば」(多賀城市)プログラム(案)

日 時：平成 27 年 1 月 22 日（木）13:00～

場 所：多賀城市文化センター

【第 1 部】 復興に向けた対話（13：00～17：10）

1. 開会
2. 主催者挨拶
復興副大臣 長島 忠美
多賀城・七ヶ浜商工会 会長 安住 政之
3. 来賓挨拶・紹介
多賀城市長 菊地 健次郎 様 他
4. 地域復興マッチング「結の場」について
・「結の場」の概要及び進め方の説明
5. ワークショップ
・課題解決に向けた対話・議論
6. 今後のスケジュールについて
7. 閉会

【第 2 部】 交流会（17：10～18：40）

※当日の午前中、支援提案企業の希望者を対象に、被災地域見学を予定しております。

地域復興マッチング『結の場』の実績と成果

ワークショップ開催実績・開催予定

	開催日	開催場所	地域企業	支援企業		開催日	開催場所	地域企業	支援企業
第1回	H24.11.28	宮城県石巻市	13社	35社	第6回	H26.2.6	福島県福島市	8社	26社
第2回	H25.2.13	宮城県気仙沼市	10社	33社	第7回	H26.12.9	福島県南相馬市	8社	29社
第3回	H25.11.7	宮城県南三陸町	6社	21社	第8回(予定)	H27.1.22	宮城県多賀城市	7社	29社
第4回	H25.12.4	宮城県亘理町	6社	19社	第9回(予定)	H27.2.5	岩手県大船渡市	調整中	
第5回	H26.1.29	岩手県宮古市	6社	26社	第10回(予定)	H27.2.13	宮城県気仙沼市	調整中	

これまでの主な成果例

地域資源のブランド化を支援(宮城県気仙沼市)

【被災地域企業】

中華高橋水産/ムラタ/石渡商店/福寿水産/
カネヒデ吉田商店/高橋水産/村芳特殊水産/
三陸鮫類

【支援提案企業】

アサヒグループホールディングス/NTTドコモ/
丹青社/大日本印刷/電通東日本/Yahoo! JAPAN

○気仙沼の地域資源であるサメ肉の高付加価値化や地域のブランド化を目指し、新商品開発やPR活動に協力して取り組んでいる。

○都内で「サメ肉を使った中国料理コンクール」を開催するなど創造的な活動も継続的に取り組んでいる。



PR活動の一環で、サメ肉の料理コンクールを開催(写真は受賞作品)。

社員食堂で被災地食材を使った支援メニューを提供(宮城県気仙沼市)

【被災地域企業】

阿部長商店

【支援提案企業】

三井不動産

○被災地域食材の消費拡大を図るため、大手企業の社員食堂のランチメニューを、被災地域企業と大手企業で共同開発。

○試験販売を通じて、常設メニュー化。提供する社員食堂も、都内5カ所に拡大するとともに、関連メニューも2種類から4種類へ拡充した。



「結の場」そして、社員食堂における常設メニュー化し、提供中。

PR活動支援によるブランド力・情報発信力を向上(宮城県亘理町)

【被災地域企業】

山田屋

【支援提案企業】

広友ホールディングス/大日本印刷

○伝えづらい味噌のこだわりを表現するため、「まんが」のパンフレットを作成し、新聞の折り込みで配布。その結果、消費者の理解が深まり、売上が前年比で約10%増加。

○仙台駅の大型デジタルサイネージ「i-ステーション仙台」にて、同パンフレットを活用した広告を掲載。



味噌の製法など、自社のこだわりを分かりやすく表現したまんがのパンフレット(表紙)。